学校番号	1015

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　（教育出版）						
副教材等	くらしを生かすペン習字入門　（教育図書出版） 高校硬筆の練習（教育出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書写と書道の違いを学ぶ。
用具用材の説明を受け、表現の違いを学ぶ。
生涯を通して広く書を愛好する心情を育てる。

２　学習の到達目標

書写の復習、書写からの発展を目指す。
書道Ⅰ・Ⅱの学習を受けてさらに鑑賞力を高め、創造力を伸ばす古典の臨書をする。
完成度の高い卒業制作を目指す。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b: 書表現の構想と工夫	c: 創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・意欲及び熱意、主体的に創造的活動に取り組もうとする姿勢 ・集中力 ・私語の有無	・書の良さや美しさを表現する工夫をする	・作品の完成度を高めつつ、自分らしい文字を書くことをめざす。	・書の良さ、美しさを感じ取り、書の伝統と文化についての理解を深める。
評価方法	・授業中の取組状況 ・出欠・遅刻の回数 ・準備・後片付けのチェック ・作品の提出	・観察 ・提出作品	・観察 ・提出作品	・観察 ・提出作品 ・鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古典の臨書	・楷書・行書・草書・篆書・隷書の古典の臨書	○	○			a:集中して課題説明及び制作に取り組んだか b:それぞれの文字の特性を掴んで書けているか c:文字の美しさ d:古典の良さを感じ取っているか	・臨書作品
	蒔絵	・蒔絵制作に向けて古典の五書体の細字での臨書 ・好きな言葉を五書体いずれかで書き元となる古典の香りを出す。 ・黒盆にうるしで字を金粉を蒔く。	○	○	○		a:集中して課題説明及び制作に取り組んだか b:文字の表現の工夫と金粉の使い方 c:丁寧に美しく文字が書かれ、漆が効果的にまかれているか d:蒔絵の美しさを感じ取っているか	・蒔絵作品
	篆刻の学習	・3cmの姓名印を彫る。	○	○	○		a:集中して課題説明及び制作に取り組んだか b:文字の工夫 c:丁寧に効果的に彫れているか d:篆刻の良さを感じ取っているか	・篆刻作品
2学期	刻字の学習	・名字を表札型の木に彫る。 ・柿渋を彫る。 ・彩色をする。	○	○	○		a:集中して課題説明及び制作に取り組んだか b:文字のレイアウト、配色の工夫 c:彫りと彩色の美しさ d:自作他作の良さを感じ取っているか	・表札作品
	卒業制作	・全紙大、半切等のサイズに自分の好きな言葉を五書体のいずれかで書き、押印する。(構成、墨色など配慮)	○	○	○	○	a:課題説明音日制作に集中して取り組んだか b:文字のレイアウト、墨色の工夫 c:作品の完成度の高さ d:文字の美しさ各自の作品の持ち味を感じ取っているか	・卒業制作作品 ・鑑賞レポート

3学期	日常書、写経	・日常書や写経に取り組む。	○	○	○		a:課題説明及び制作に集中して取り組んだか b:文字の特性をつかんだか c:文字の丁寧さ・美しさ d:写経の良さを感じ取っているか	・写経などの作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。